

新刊委託	
番線	
部数	
山内志朗著 感じるスコラ哲学—中世哲学入門(仮) ISBN978-4-7664-2319-8 C0010	発行所・慶應義塾大学出版会
本体予価2,200円	
部数: ★★★★★	

ご注文はFAXで! 03-3451-3124

慶應義塾大学出版会 イチ押し

2016年4月 新刊のご案内

哲学書 ご担当者さま

ひと月先の刊行予定の書籍から、オスメの本をご紹介します。

感じるスコラ哲学—中世哲学入門(仮)

山内志朗 (慶應義塾大学文学部教授、『小さな倫理学入門』著者) [著]

四六判上製 / 256頁 本体予価2,200円 ISBN 978-4-7664-2319-8 C0010

▼中世哲学を「頭」ではなく「感覚」で捉えるために。

ワインや肉食・パン食の普及、ミサなど、生活に根差した文化や習慣は、実は中世哲学（スコラ哲学）の生成に大きく関わっている。中世キリスト教における「身体性」を検討することで、中世とは何だったのかを深く掘り下げる刺激的な一書。

類書 『トマス・アキナス 肯定の哲学』（慶應義塾大学出版会、2014） ISBN 978-4-7664-2171-2



営業部からのおすすめポイント

哲学は、象牙の塔ではなく、日常の中にこそあるもの——。今もなおスコラ哲学は、最も身近な学問であり、「素朴」な存在であることを、著者は真剣に丁寧に伝えようとしています。中世哲学の入門書はここ数年で非常に充実し、良い意味で敷居が低くなってきていると思います。そういった中で、本書は、より親しみやすく、新しい角度から学べる入門書を目指し、鋭意制作中！ 棚に長く残る定番書に育てていきたいと思っていますので、ぜひ積極的なご展開をお願いいたします。

（中島）